

ドライバをインストールする (Windows Me)

留意事項

- パソコンやシステムの状態によっては、インストールの手順や画面の表示が異なることがあります。その場合は画面の指示に従ってください。

本モデムをパソコンに装着(P11「■電話回線、パソコンを接続する」参照)し、パソコン本体の電源を入れてください。

1 起動の途中で、以下の「新しいハードウェア」画面が表示されることがあります。

- 「'windows98/95' または 'windows98/95/NT4.0' ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください」と表示されたら、そのまま[OK]をクリックしてください。「ファイルのコピー元」欄が表示されたら、本製品に添付されているCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「ファイルのコピー元」欄に **D:¥Driver¥WinME** と入力して[OK]をクリックしてください。

* (D:) はCD-ROMドライブです。お使いのパソコンによって異なります。

2 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。「ドライバの場所を指定する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。



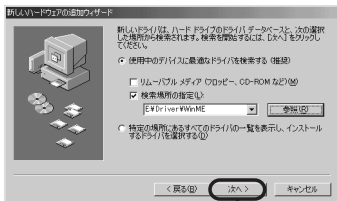
1 チェック

2 クリック

3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを入れ、「検索場所の指定」の欄に「D:¥Driver¥WinME」と入力したのち、「次へ」をクリックしてください。

* (D:)はCD-ROMドライブです。お使いのパソコンによって異なります。

(CD-ROMドライブの確認方法は「こんな時には」のQ.13を参照してください。)



1 クリック

4 検索した「モデム設定ファイル」のディレクトリが表示されます。「次へ」をクリックしてください。



1 クリック

5 以下の画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。



1 クリック

6

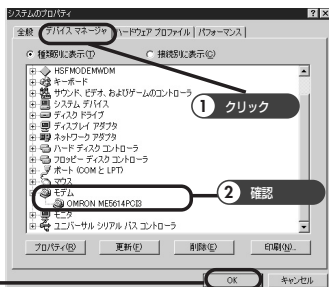
インストール結果を確認する。

- 1) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」のアイコンをダブルクリックしてください。



- 2) 「デバイスマネージャ」のタブをクリックし、右図のように表示されていればインストールは完了です。

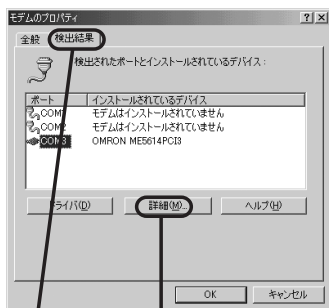
- 3) 「OK」をクリックしてください。



7

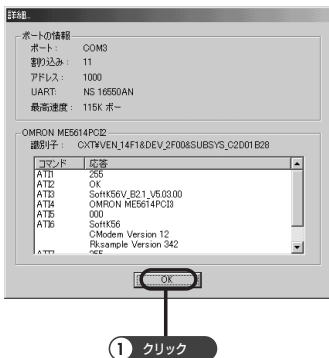
接続を確認する。

- 1) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「モデム」のアイコンをダブルクリックし、「検出結果」タブをクリックしてください。ME5614PCI3が表示されているポートをクリックして「詳細」をクリックしてください。



- 1) クリック
- 2) クリック

- 2) 「お待ちください」というメッセージの後に「詳細」画面が表示されます。「詳細」画面のATI4の列に「ME5614PCI3」を確認できたら接続は完了です。(ATI4以外はパソコンによって表示内容が異なります。)
- 「詳細情報」画面の「OK」をクリックしプロパティの「OK」、コントロールパネルの ボタンをクリックしてWindows Meのデスクトップに戻ってください。



以上でパソコンへのセットアップは完了しました。

留意事項

- CD-ROM を取り出し、大切に保管して下さい。

パソコンでFAXをする場合や、ファームバンキング、その他ソフトを使ったデータ送信は、ご用意したソフトの設定を進めてください。

インターネットをする場合は、引き続き「ダイヤルアップ接続の設定」とインターネットへ接続するに進んでください。

ダイヤルアップ ネットワークを設定する(Windows Me)

「ダイヤルアップネットワーク」がインストールされていない場合は、Windows Meのデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」からインストールします。「Windowsファイル」タブ→「通信」→「詳細」→「ダイヤルアップネットワーク」を選択し、「OK」をクリックしてインストールした後、以下の設定を行ってください。詳しいインストール方法はパソコン等の取扱説明書をご参照ください。

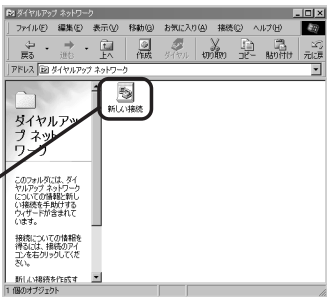
- 1 「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。

① ダブルクリック

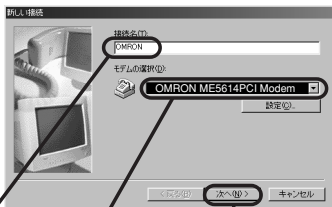


- 2 「新しい接続」をダブルクリックしてください。

① ダブルクリック



3 「接続名」欄に「接続名」(プロバイダ名等)を入力してください。ここでは、例としてプロバイダ名をOMRONとします。「モデムの選択」欄で「OMRON ME5614PCI3」を選択した後、「次へ」をクリックしてください。



① 入力

② クリック

③ クリック

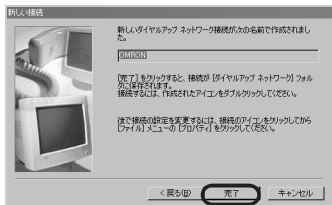
4 「市外局番」欄、「電話番号」欄には、アクセスポイントの番号を入力、「国/地域番号」欄は「日本(81)」を選択します。「次へ」をクリックしてください。



① クリック

② クリック

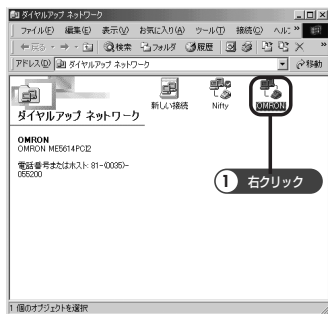
5 以下の画面が開きますので、「完了」をクリックしてください。



① クリック

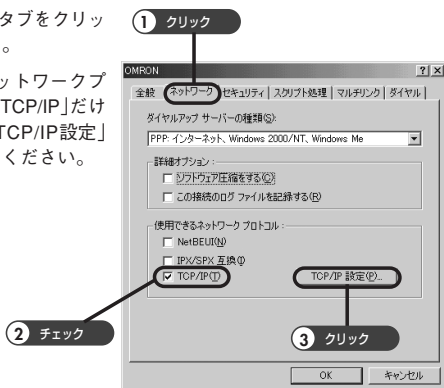
6 新しいアイコンが追加されません。

新しく追加されたアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

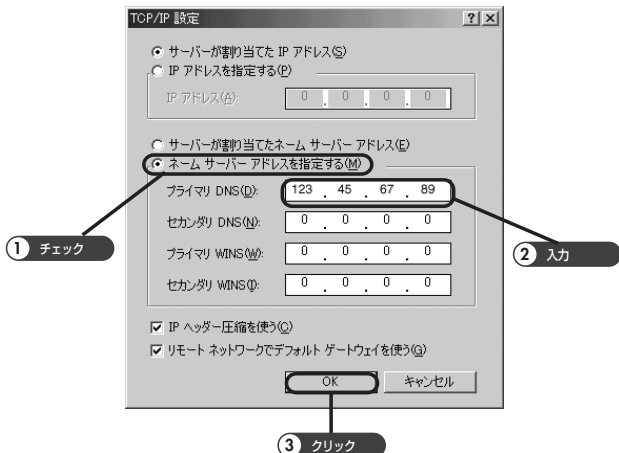


7 「ネットワーク」タブをクリックしてください。

「使用できるネットワークプロトコル」欄の「TCP/IP」だけチェックし、「TCP/IP設定」をクリックしてください。



- 8** 「名前サーバーアドレスを指定する」にチェックし、「プライマリ DNS」にプロバイダから与えられたアドレスを入力後、「OK」をクリックしてください。
- 「プロパティ」画面に戻ります。
- 「プロパティ」画面の「OK」をクリックしてください。デスクトップ画面に戻ります。



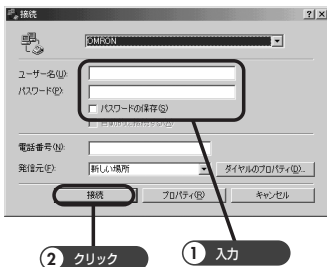
留意事項

- 7, 8 項の設定内容は、設定の一例です。
正しくはプロバイダへの加入時に入手したプロバイダの情報に従ってください。

インターネットへ接続する (Windows Me)


1 「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリックしてください。「ダイヤルアップネットワーク」ウインドウが開き「OMRON」アイコン(接続先アイコン)が表示されます。

2 「OMRON」アイコンをダブルクリックしてください。「ユーザー名」と「パスワード」の欄に、プロバイダから与えられた情報を入力し「接続」をクリックしてください。接続が開始されます。「パスワードを保存する」をチェックすると、再接続の際、パスワードを入力する必要がなくなります。



3 プロバイダへの接続が完了したら、デスクトップ画面にある「インターネットエクスプローラ」アイコンをダブルクリックしてください。「インターネットエクスプローラ」が起動し、ホームページが表示されます。



4 プロバイダへの接続を切断します。
デスクトップのタスクバーに格納されているダイヤルアップアイコン
をダブルクリックしてください。

5 「切断」をクリックしてください。
「XXXXへの切断を終了しますか?」というメッセージが表示された場合は「はい」をクリックしてください。
プロバイダへの接続が切断されます。
ここで、「切断」をクリックして切断処理を行わないと、回線は接続されたままになります。必ず「切断」をクリックしてください。

ドライバをインストールする (Windows 98SE)

留意事項

- パソコンやシステムの状態によっては、インストールの手順や画面の表示が異なることがあります。その場合は画面の指示に従ってください。

本モデムをパソコンに装着(P11「**電話回線**、パソコンを接続する」参照)し、パソコン本体の電源を入れてください。

1 起動の途中で、以下の「新しいハードウェア」画面が表示されることがあります。

- 「'windows98/95' または 'windows98/95/NT4.0' ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください」と表示されたら、そのまま[OK]をクリックしてください。「ファイルのコピー元」欄が表示されたら、本製品に添付されているCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「ファイルのコピー元」欄に **D:¥Driver¥Win98se** と入力して[OK]をクリックしてください。

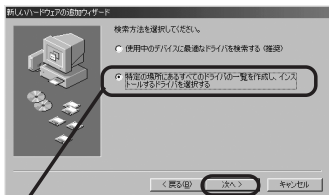
* (D:)はCD-ROMドライブです。お使いのパソコンによって異なります。

2 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



1 クリック

- 3** 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」にチェックをし、「次へ」をクリックしてください。



① チェック

② クリック

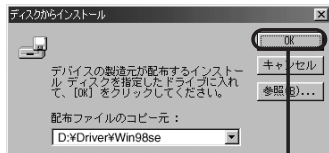
- 4** 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面にデバイスの一覧が表示されますので、「モデム」を選択して「次へ」をクリックしてください。

- 5** 「ディスク使用」をクリックしてください。



① クリック

- 6** 添付されているCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。「配布ファイルのコピー元」に「D: ¥Driver¥Win98se」と入力し、「OK」をクリックしてください。

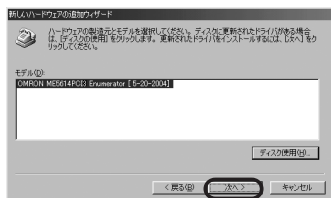


① クリック

* (D:)はCD-ROMドライブです。お使いのパソコンによって異なります。

(CD-ROMドライブの確認方法は「こんな時には」のQ.13を参照してください。)

- 7 「OMRON ME5614PCI3 Enumerator」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



1 クリック

- 8 検索した「モデム設定ファイル」のディレクトリが表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



1 クリック

- 9 以下の画面が表示されますので「完了」をクリックしてください。

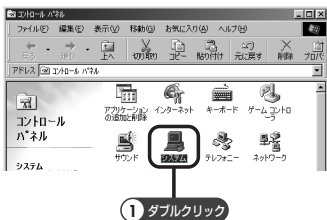


1 クリック

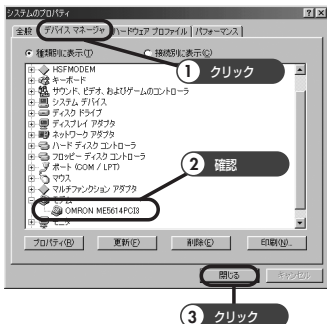
10

インストール結果を確認する。

- 1) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」のアイコンをダブルクリックし、その中の「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。



- 2) 右図のように表示されていればインストールは完了です。

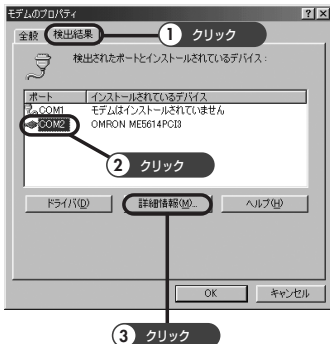


- 3) 「閉じる」をクリックしてください。

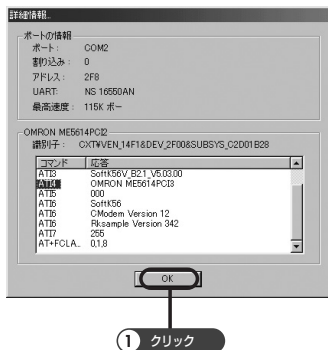
11

接続を確認する。

- 1) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「モデム」のアイコンをダブルクリックし、「検出結果」タブをクリックしてください。ME5614PCI3が表示されているポートをクリックして「詳細情報」をクリックしてください。



- 2) 「お待ちください」というメッセージの後に「詳細情報」画面が表示されます。「詳細情報」画面のATI4の列に「ME5614PCI3」を確認できたら接続は完了です。(ATI4以外はパソコンによって表示内容が異なります。)
- 「詳細情報」画面の「OK」をクリックしプロパティの「OK」、コントロールパネルの ボタンをクリックしてデスクトップに戻ってください。



以上でパソコンへのセットアップは完了しました。

パソコンでFAXをする場合や、ファームバンキング、その他ソフトを使ったデータ送信は、ご用意したソフトの設定を進めてください。

インターネットをする場合は、引き続き「ダイヤルアップ接続の設定」とインターネットへ接続するに進んでください。

ダイヤルアップ ネットワークを設定する(Windows 98SE)

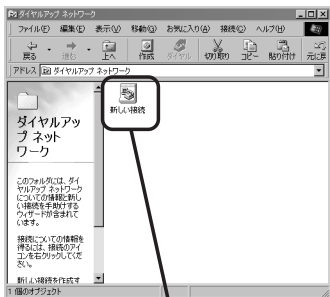
「ダイヤルアップネットワーク」がインストールされていない(下記1.の画面で表示されていない)場合は、Windows98SEのデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」からインストールします。「Windowsファイル」タブ→「通信」→「詳細」→「ダイヤルアップネットワーク」を選択し、「OK」をクリックしてインストールした後、以下の設定を行ってください。詳しいインストール方法はパソコン等の取扱説明書をご参照ください。

- 1 「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。



① ダブルクリック

- 2 「新しい接続」をダブルクリックしてください。



① ダブルクリック

- 3** 「接続名」欄に「接続名」(プロバイダ名等)を入力してください。ここでは、例としてプロバイダ名をOMRONとします。「モデムの選択」欄で「OMRON ME5614PCI3」を選択した後、「次へ」をクリックしてください。



1 入力

2 クリック

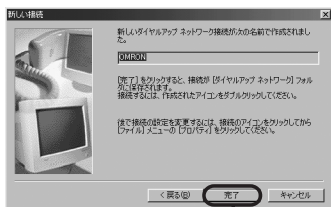
- 4** 「市外局番」欄、「電話番号」欄には、アクセスポイントの番号を入力、「国番号」欄は「日本(81)」を選択します。「次へ」をクリックしてください。



1 入力

2 クリック

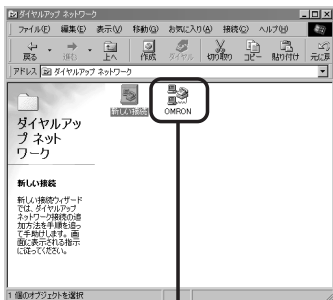
- 5** 以下の画面が開きますので、「完了」をクリックしてください。



1 クリック

6 新しいアイコンが追加されま す。

新しく追加されたアイコンを
選択し、「右クリック」→「プ
ロパティ」をクリックしてく
ださい。



1 右クリック

7 「サーバーの種類」をクリック してください。

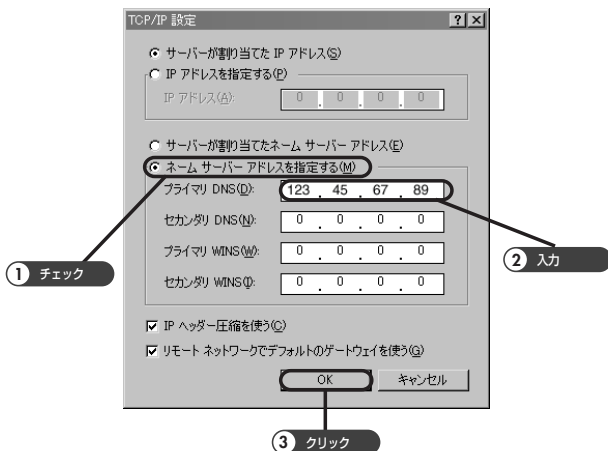
「使用できるネットワークプ
ロトコル」欄の「TCP/IP」だけ
チェックし、「TCP/IP設定」
をクリックしてください。



2 チェック

3 クリック

- 8** 「名前サーバーアドレスを指定する」にチェックし、「プライマリ DNS」にプロバイダから与えられたアドレスを入力後、「OK」をクリックしてください。
- 「プロパティ」画面に戻ります。
- 「プロパティ」画面の「OK」をクリックしてください。デスクトップ画面に戻ります。



留意事項

- 7, 8 項の設定内容は、設定の一例です。
正しくはプロバイダへの加入時に入手したプロバイダの情報に従ってください。

インターネットへ接続する (Windows 98SE)

インターネットへ接続するためにはホームページを閲覧するためのブラウザソフトがインストールされている必要があります。

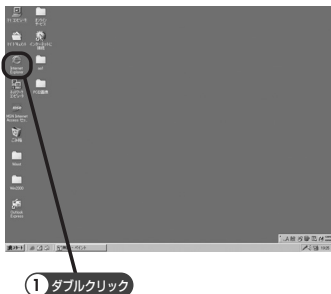
ここではブラウザソフトとして「インターネットエクスプローラ」を使用します。


1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリックしてください。「ダイヤルアップネットワーク」ウインドウが開き「OMRON」アイコン(接続先アイコン)が表示されます。

2 「OMRON」アイコンをダブルクリックしてください。「ユーザー名」と「パスワード」の欄に、プロバイダから与えられたアカウント及びパスワードを入力し「接続」をクリックしてください。接続が開始されます。「パスワードを保存する」をチェックすると、再接続の際、パスワードを入力する必要がなくなります。



3 プロバイダへの接続が完了したら、デスクトップ画面にある「インターネットエクスプローラ」アイコンをダブルクリックしてください。「インターネットエクスプローラ」が起動し、ホームページが表示されます。



4 プロバイダへの接続を切断します。
デスクトップのタスクバーに格納されているダイヤルアップアイコン
をダブルクリックしてください。

5 「切断」をクリックしてください。
「XXXXへの切断を終了しますか？」というメッセージが表示された場合は「はい」をクリックしてください。
プロバイダへの接続が切断されます。
ここで、「切断」をクリックして切断処理を行わないと、回線は接続されたままになります。必ず「切断」をクリックしてください。

AT コマンドの基本

ATコマンドは米国ヘイズ社によって開発されたモデム用コマンドで、AT○○○とパソコンより入力することにより、通信することができます。

■ AT コマンドとは

ATコマンドでは、端末がモデムに送る命令を「コマンド」、命令に対してモデムから端末に返される文字列を「リザルトコード」と呼びます。ATコマンドは必ずATという文字で始め、最後にリターンコードを入力します。(A/を除く)。ATに続くコマンドは1行に複数入力することができます。大文字(AT)と小文字(at)の両方が使えます。(ただし、大文字と小文字の混在はできません)

ATコマンドのフォーマットは次のようになります。

A	T	コマンド	パラメータ	コマンド	パラメータ	コマンド	…		LF
最大37 (ATを含め39) 文字									

※LFコードは省略可能

リザルトコードには単語と数字の形式があり、次のようなフォーマットになります。

CR	LF	リザルトコード (単語)	CR	LF
		リザルトコード (数字)		

■ データフォーマットの自動認識

ATコマンドでは、モデムは端末(パソコン、ワープロ等)から送られてくるコマンド先頭のATの2文字を検出することにより、端末の通信速度とデータフォーマットを自動的に認識します。

認識したデータフォーマットは不揮発メモリに保存可能です。

【例】 AT 

■ コマンドリスト

● AT コマンド

- nは数値、mmは文字列を示します。
- パラメータ解説のデフォルト値は*、保存可能コマンド・レジスタは#で示しています。

コマンド nは数値、 (mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
A/	コマンド再実行		
ATA	強制着信		
ATDmm	ダイヤル:モデムから電話回線にダイヤル信号を送ります	0~9 *, # T P W @ ! , ; L	電話番号 DTMF信号(トーンダイヤルのみ) トーン(プッシュ)式でダイヤル パルス式でダイヤル ダイヤルトーンの検出 無音の検出 フッキング ポーズ(時間はS8レジスタで設定) ダイヤル後コマンドモードに戻る 直前にダイヤルした番号に再ダイヤル
# ATEn	コマンドエコー:モデムに入力した文字列を端末にエコーバックさせます。	0 * 1	なし あり
ATHn	回線制御:電話回線のオン、オフを制御します	0 1	オンフック オフフック
ATIn	プロダクトID表示	0 1 2	プロダクトコード表示 ROMチェックサム表示 ROMチェックサム検証
# ATMn	モニタスピーカ動作設定	0 * 1 2 3	常時オフ 通信開始までオン 常時オン ダイヤリング時オフ、以降1と同じ

コマンド nは数値、 (mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
ATOn	オンラインモードへの復帰、強制リトレイン: エスケープモードからの動作を設定	0 1	オンラインモードへの復帰 強制リトレインによるオンラインモードへの復帰
# ATP	パルスダイヤル設定		
# ATQn	リザルトコード有無設定	* 0 1	あり なし
ATSn=x ATSn?	Sレジスタの設定: Sレジスタの参照・設定を行う	n x ?	レジスタ番号 設定値 内容問い合わせ
# ATT	トーン(プッシュ)ダイヤル設定		
# ATVn	リザルトコード表示形式: コマンド入力した時の実行結果を知らせる形式の設定	0 * 1	数字形式 単語形式
# ATWn	接続完了時の通信速度表示形式の設定	0 1 * 2	端末-モデム間速度表示 モデム-モデム間速度、 エラー訂正プロトコル モデム-モデム間速度表示
# ATXn	通信速度表示、ビジー・ダイヤルトーンの検出: 接続完了時の通信速度表示の有無、ビジー(話中音)・ダイヤルトーン(発信音)の検出	0 1 2 3 * 4	速度表示なし、トーン検出なし 速度表示あり、トーン検出なし 速度表示あり、ダイヤルトーンを検出 速度表示あり、ビジートーンを検出 速度表示あり、ビジー・ダイヤルトーン共に検出
ATZn	ソフトウェアリセット	0	現在値エリアのリセット、プロファイルの読み込み
# AT&Cn	CD信号制御	0 * 1	常時ON 相手モデムのキャリアに従う
# AT&Dn	ER信号制御	0 1 * 2	常時ON動作 ER ON→OFFでエスケープ ER ON→OFFで回線断

AT コマンドの基本

	コマンド nは数値、 (mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
	AT&F	現在値エリアの設定を工場出荷時設定に戻す		工場出荷時設定で現在値エリアを初期化
#	AT&Kn	フロー制御	0 * 3 4	フロー制御なし RS/CSフロー制御 XON/XOFFフロー制御
#	AT&Pn	パルスダイヤル速度	* 1 3	10PPS 20PPS
	AT&V	ステータス表示		
	AT&Wn	現在値エリアの内容を不揮発メモリーに保存	0	プロファイルに保存
#	AT¥Nn	エラー訂正設定	0 2 * 3 4 5	ノーマルモード V.42リライアブルモード V.42オートリライアブルモード LAPMリライアブルモード MNPリライアブルモード
#	AT%Cn	データ圧縮設定	0 * 3	データ圧縮なし V.42bis、MNP5自動選択
#	AT%En	自動リトレイン、フォールバック・フォールワード設定	0 * 1	なし リトレインあり

コマンド nは数値、 (mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)	
# AT+MS = a,b,c,d,e,f	通信規格の選択(a~fは パラメータ数値を","で つないで入れます)	a = V21 V22 V22B V32 V32B V34 * V90 K56 B103 B212	通信規格	通信可能速度
			V.21を選択	300
			V.22を選択	1200
			V.22bisを選択	1200, 2400
			V.32を選択	4800, 9600
			V.32bisを選択	4800~14400
			V.34を選択	2400~33600
			V.90を選択	28000~56000
K56flexを選択	32000~56000			
Bell 103を選択	300			
Bell212Aを選択	1200			
b = 0	自動速度応答なし			
* 1	自動速度応答あり			
c = 300~ 33600	送信最低通信速度を指定 (初期値) = 300			
d = 300~ 33600	送信最高通信速度を指定 (初期値) = 33600			
e = 300~ 56000	受信最低通信速度を指定 (初期値) = 300			
f = 300~ 56000	受信最高通信速度を指定 (初期値) = 56000			

● リザルトコード

ATコマンドを入力したとき、その実行結果を知らせるコードです。

数字形式	単語形式	意味
0	OK	正常実行
1	CONNECT	接続完了
2	RING	呼び出し検出
3	NO CARRIER	回線切断
4	ERROR	コマンドエラー
5	CONNECT 1200	1200bps接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーン未検出
7	BUSY	話中音検出
8	NO ANSWER	無音未検出
10	CONNECT 2400	2400bps接続
11	CONNECT 4800	4800bps接続
12	CONNECT 9600	9600bps接続
13	CONNECT 7200	7200bps接続
14	CONNECT 12000	12000bps接続
15	CONNECT 14400	14400bps接続
16	CONNECT 19200	19200bps接続
17	CONNECT 38400	38400bps接続
18	CONNECT 57600	57600bps接続
19	CONNECT 115200	115200bps接続
24	DELAYED XX:XX:XX	リダイヤル制限中(XXはリダイヤル制限解除までの時間を表示します)
32	BLACKLISTED	リダイヤル制限中
40	+MRR: 300	300bpsキャリア検出
46	+MRR: 1200	1200bpsキャリア検出
47	+MRR: 2400	2400bpsキャリア検出
48	+MRR: 4800	4800bpsキャリア検出
49	+MRR: 7200	7200bpsキャリア検出
50	+MRR: 9600	9600bpsキャリア検出
51	+MRR: 12000	12000bpsキャリア検出
52	+MRR: 14400	14400bpsキャリア検出
53	+MRR: 16800	16800bpsキャリア検出
54	+MRR: 19200	19200bpsキャリア検出
55	+MRR: 21600	21600bpsキャリア検出
56	+MRR: 24000	24000bpsキャリア検出
57	+MRR: 26400	26400bpsキャリア検出

数字形式	単語形式	意味
58	+MRR: 28800	28800bps キャリア検出
59	CONNECT 16800	16800bps接続
61	CONNECT 21600	21600bps接続
62	CONNECT 24000	24000bps接続
63	CONNECT 26400	26400bps接続
64	CONNECT 28800	28800bps接続
66	+DR:ALT	MNP5接続
67	+DR:V42B	V.42bis接続
69	+DR:NONE	非圧縮モード接続
70	+ER:NONE	非エラー訂正モード接続
77	+ER:LAPM	LAPM接続
78	+MRR:31200	31200bps キャリア検出
79	+MRR:33600	33600bps キャリア検出
80	+ER:ALT	MNP4接続
84	+MRR:33600	33600bps接続
91	+MRR:31200	31200bps接続
134	+MCR:B103	BELL 103で接続
135	+MCR:B212	BELL 212Aで接続
136	+MCR:V21	ITU-T V21で接続
137	+MCR:V22	ITU-T V22で接続
138	+MCR:V22B	ITU-T V22bisで接続
140	+MCR:V32	ITU-T V32で接続
141	+MCR:V32B	ITU-T V32bisで接続
142	+MCR:V34	ITU-T V34で接続
144	+MCR:K56	K56flexで接続
145	+MCR:V90	ITU-T V90で接続
150	+MRR:32000	32000bps キャリア検出
151	+MRR:34000	34000bps キャリア検出
152	+MRR:36000	36000bps キャリア検出
153	+MRR:38000	38000bps キャリア検出
154	+MRR:40000	40000bps キャリア検出
155	+MRR:42000	42000bps キャリア検出
156	+MRR:44000	44000bps キャリア検出
157	+MRR:46000	46000bps キャリア検出
158	+MRR:48000	48000bps キャリア検出
159	+MRR:50000	50000bps キャリア検出
160	+MRR:52000	52000bps キャリア検出

AT コマンドの基本

数字形式	単語形式	意味
161	+MRR:54000	54000bps キャリア検出
162	+MRR:56000	56000bps キャリア検出
165	CONNECT 32000	32000bps 接続
166	CONNECT 34000	34000bps 接続
167	CONNECT 36000	36000bps 接続
168	CONNECT 38000	38000bps 接続
169	CONNECT 40000	40000bps 接続
170	CONNECT 42000	42000bps 接続
171	CONNECT 44000	44000bps 接続
172	CONNECT 46000	46000bps 接続
173	CONNECT 48000	48000bps 接続
174	CONNECT 50000	50000bps 接続
175	CONNECT 52000	52000bps 接続
176	CONNECT 54000	54000bps 接続
177	CONNECT 56000	56000bps 接続
180	CONNECT 28000	28000bps 接続
181	CONNECT 29333	29333bps 接続
182	CONNECT 30667	30667bps 接続
183	CONNECT 33333	33333bps 接続
184	CONNECT 34667	34667bps 接続
185	CONNECT 37333	37333bps 接続
186	CONNECT 38667	38667bps 接続
187	CONNECT 41333	41333bps 接続
188	CONNECT 42667	42667bps 接続
189	CONNECT 45333	45333bps 接続
190	CONNECT 46667	46667bps 接続
191	CONNECT 49333	49333bps 接続
192	CONNECT 50667	50667bps 接続
193	CONNECT 53333	53333bps 接続
194	CONNECT 54667	54667bps 接続
195	+MRR:28000	28000bps キャリア検出
196	+MRR:29333	29333bps キャリア検出
197	+MRR:30667	30667bps キャリア検出
198	+MRR:33333	33333bps キャリア検出
199	+MRR:34667	34667bps キャリア検出
200	+MRR:37333	37333bps キャリア検出
201	+MRR:38667	38667bps キャリア検出

数字形式	単語形式	意味
202	+MRR:41333	41333bps キャリア検出
203	+MRR:42667	42667bps キャリア検出
204	+MRR:45333	45333bps キャリア検出
205	+MRR:46667	46667bps キャリア検出
206	+MRR:49333	49333bps キャリア検出
207	+MRR:50667	50667bps キャリア検出
208	+MRR:53333	53333bps キャリア検出
209	+MRR:54667	54667bps キャリア検出

注：+MRR:のあとには、以下の通り送信キャリア速度と受信キャリア速度が表示されます。 +MMR: X, Y (X: 送信キャリア速度、Y: 受信キャリア速度)

● S レジスタ

	レジスタ	設定値(初期値)	機 能
#	S0	0 自動着信なし 1~255 (0)	自動着信/着信呼出回数の設定 自動着信するまでの呼出回数を設定します。 (単位:回)
	S1	0~255	着信呼出回数のカウント モデムが呼出信号を受信したとき、その受信回数をカウントします。呼出信号を8秒間受信しないと0になります。(読み出し専用)
#	S2	0~127 (43)	エスケープコードの設定 データ通信中、一時的にコマンド入力ができる状態にするためのエスケープコードを設定します。 (10進のアスキーコード)
	S3	0~127 (13)	CRコードの設定 コマンドの最後に入力するキャリッジリターンコードを設定します。(10進のアスキーコード)
	S4	0~127 (10)	LFコードの設定 ラインフィードコードを設定します。画面を1行スクロール(改行)させるためのコードを設定します。(10進のアスキーコード)
	S5	0~32 (8)	BSコードの設定 バックスペースコードを設定します。コマンドの入力ミスを訂正するためのコードを設定します。 (10進のアスキーコード)
	S7	50固定(設定不可)	オフフック制限タイマ 通信開始までの待ち時間 オフフックから、このレジスタで設定された時間までに相手モデムのキャリアが検出されないと'NO CARRIER'を表示し、オンフックします。
#	S8	2~255 (2)	ダイヤルポーズ時間 ダイヤルオプションの“,”(カンマ)でダイヤル信号送出を休止する時間を設定します。(単位:秒)
#	S10	1~255 (14)	キャリア許容断時間 通信中にこのレジスタで設定した時間以上、相手モデムからキャリアがなかったとき、回線を切断します。このレジスタを255に設定した場合は、回線を切断しません。通信中によく回線が切れるときは、このレジスタの設定値を大きくしてください。(単位:1/10秒)

	レジスタ	設定値(初期値)	機 能
#	S12	20~255 (50)	ガードタイム エスケープコードの前後のデータ送信を行わない時間を設定します。(単位:1/50秒)
	S30	0: アボート タイマなし 1~255 (0)	アボートタイマ データの送信または受信が一定時間以上ないときに回線を切断するアボートタイマの時間を設定します。エラー訂正モードでは、データを送信または受信したときにこのタイマがリセットされます。また、非エラー訂正モードでは、データを送信したときにこのタイマがリセットされます。 (単位:10秒)

こんな時には

■ Q&A

本モデムの動作やインターネット接続に問題がある場合の対策や各種要望などについて説明します。本章に記載されている対策でも解決されない場合は、当社カスタマサポートセンタ（TEL ☎ 0120-77-4717）へお問い合わせください。

Q1. インストールできない

1. デバイスマネージャに、異常表示が出ていませんか？

<Windows Server 2003/XP/2000の場合>

- ① [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順にクリックし、[システム]をダブルクリックしてください。
- ② [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックしてください。
- ③ [デバイスマネージャ]内に「! PCI シンプル通信コントローラ」「× 不明なデバイス」「? その他のデバイス」がありましたら、これらの項目を削除し、パソコンを再起動して再度インストールをお試しください。

「! PCI シンプル通信コントローラ」「× 不明なデバイス」「? その他のデバイス」が無い場合は、[デバイスマネージャ]内の「モデム」の左の「+」をクリックしてください。「Generic Soft56」や「Soft V92 Data FAX Modem」と表示されている場合は完全にインストールができていません。

ドライバの更新を行ってください。手順はP15 4以降をご参照ください。

<Windows98/Meの場合>

- ① [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順にクリックし、[システム]をダブルクリックしてください。
- ② [デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。
- ③ [デバイスマネージャ]内に「! PCI シンプル通信コントローラ」「× 不明なデバイス」「? その他のデバイス」がありましたら、これらの項目を削除し、パソコンを再起動して再度インストールをお試しください。

2. PCIスロットは正常動作していますか？

PCIスロットが複数ある場合は、別のスロットに差し替えてお試しください。

3. リソースに空きがありますか？

【確認方法】

- ① 1.の手順で[デバイスマネージャ]を開き、メニューバーの表示]→[リソース(種類)]をクリックします。

- ②「割り込み要求 (IRQ)」の左の「+」をクリックします。(Win98/Meの場合は、デバイスマネージャの一番上にある「コンピュータ」をダブルクリックし、リソースの表示タブで確認します。)
- ③各デバイスに番号が振られています。
もしどこにも数字の空きが無い場合は、リソースが足りないことが考えられます。例えば、0,1,2,3,4,5,6,7...と連番になっている場合は空きがありません。0,1,3,4,7となっていれば、2や5,6が抜けていますので、空きがあります。使用していないデバイスを使用停止にするなどの方法で、空きを作ってください。詳しい操作につきましては、パソコンメーカーへご確認ください。

Q2. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー 630:

コンピュータは、モデムからの応答を受信しません。モデムが正しく装着されているか確認し、必要であればモデムの電源を一度切って、入れ直してください。

エラー 630:

モデムが正しく応答していません。

エラー 692:

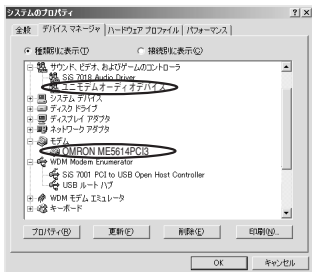
モデム (または他の接続デバイス) でハードウェアの障害が発生しました。

1. モデムが正常にインストールされていますか?

パソコンにモデムがインストールされていることを確認してください。

《WindowsMe/98SEの場合》

- ①「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックしてください。
- ②「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。下記のような画面が表示されていることを確認してください。

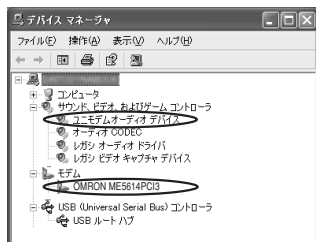


左図のように正しく表示されない場合

「① OMRON...」または「! 不明なデバイス」と表示された場合は、選択して削除してください。その後、本ガイド P93～102 を参照し、ドライバをアンインストールしてください。その後再インストールします。

<Windows Server 2003/XP/2000の場合>

- ① 「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックしてください。
- ② 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックしてください。下記のような表示がされていることを確認してください。



左図のように正しく表示されない場合

「①OMRON...」または「?その他のデバイス」、「!不明なデバイス」と表示された場合は、選択して削除してください。その後、本ガイドP93～102を参照し、ドライバをアンインストールしてください。その後再インストールします。

2. 「モデムの照会」が開けますか？(Windows Server 2003/XP/2000)

設定したドライバとパソコンに接続したME5614PCI3が正常に動作するかどうかを確認します。

- ① [スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]をクリックしてください。
- ② [電話とモデムのオプション]をダブルクリックし[モデム]タブをクリックしてください。

[OMRON ME5614PCI3]が表示されているポートのアイコンをクリックし、[プロパティ]をクリックしてください。

- ③ 「診断」タブをクリックし、[モデムの照会]をクリックしてください。
- ④ しばらくするとモデムとの応答結果が表示されます。

[モデムの照会]画面が表示されたら接続は完了です。[OK]をクリックし、デスクトップ画面に戻ってください。



Windows Me/98SEの方は、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[モデム]の順にダブルクリックしてください。[検出結果]タブをクリックし、[OMRON ME5614PCI3]が表示されているポートをクリックし、[詳細]または[詳細情報]をクリックすると確認できます。結果は④を参照してください。[モデムが応答しません][ポートが開けません]というエラーが出る場合は、P93～P102を参照してドライバをアンインストールし、その後再インストールをお試しください。

[ポートが既に開かれています]エラーが出る場合は、ハイパーターミナルやFAXソフトなどの通信ソフトを起動していることや、常駐ソフトの影響が考えられます。これらのソフトを終了し、再度ご確認ください。

ソフトの終了、パソコンを再起動しても変化がない場合は、P83～P90を参照しドライバをアンインストールし、その後再インストールをお試しください。

3. 他のモデムを選択していませんか？

[スタート]→[接続]→[OMRON(ご自身で設定した接続名)]→[プロパティ]をクリックしてください。

Windows Server2003/XP以外の方は、作成したダイヤルアップの接続アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックしてください。



正しく選択されているか、または「OMRON ME5614PCI3」のみチェックが入っているか、ご確認ください。

Q3. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー 680:
発信音が聞こえません。

1. 回線は正しく接続されていますか？

モジュラケーブルがME5614PCI3の背面のLINE端子に接続されているか確認してください。

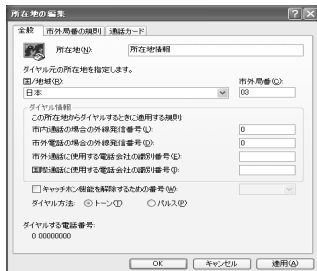
2. 他のモデムを選択していませんか？

P.73 Q2の3を参照し、確認してください。

3. 内線発信の回線ではありませんか？

① Windows Server 2003/XP/2000の方は、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[電話とモデムのオプション]→[モデム]→[プロパティ]→[ダイヤルの管理]→[発信音を待ってからダイヤルする]のチェックをはずしてください。Windows Me/98の方は、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[モデム]→[プロパティ]→[接続]タブ→[トーンを待ってからダイヤルする]のチェックをはずしてください。

② Windows Server 2003/XP/2000の方は、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[ネットワーク接続]→([ネットワークとダイヤルアップ接続]→[接続するプロバイダのアイコン]をダブルクリック→[プロパティ]→[全般]タブ(→[規則])→[ダイヤル情報]→[編集]→[全般]の[市内通話の場合の外線発信番号][市外通話の場合の外線発信番号]の欄に[0]や[9]などの外線発信番号を入力します。



③ Windows Me/98SEの方は、[マイコンピュータ]→([コントロールパネル]→[ダイヤルアップネットワーク]→[接続するプロバイダのアイコン]をダブルクリックしてください。[市内通話]や[市外通話]または[長距離]欄に[0]や[9]などの外線発信番号を入力します。

Q4. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー 676:
回線が使用中です。
しばらくしてから、やり直してみてください。

エラー 676:
電話回線はビジーです。

1. 回線が混んでいませんか？

アクセスポイントの回線が混んでいることが考えられます。アクセスポイント先の電話番号を変更してみてください。

2. お使いの電話回線の種類

(トーン・パルス)は間違っていますか？

[スタート]→[接続]→[OMRON(ご自身で設定した接続名)]→[プロパティ]をクリックしてください。

[全般]タブの電話番号欄で[ダイヤル情報を使う]にチェックマークをつけ、[ダイヤル情報]をクリックしてください。

所在地情報をクリックし、[編集]をクリックしてください。ダイヤル方法でお使いの電話回線(トーン・パルス)を選び、再び接続し直してみてください。

3. 市外局番を入力しましたか？

接続するための電話番号を入力する際、市外局番が必要な場合があります。

[スタート]→[接続]→[OMRON(ご自身で設定した接続名)]→[プロパティ]をクリックしてください。[全般]タブをクリックし、電話番号欄で[ダイヤル情報を使う]のチェックをはずしてください。その後、電話番号を市外局番から入力し、再び接続し直してみてください。

4. 自動発信規制がかかっていませんか？

本モデムでは、話し中の場合の同じ電話番号への発信は3分間で2回以内に制限されます。最初の発信から3分待つか、別の電話番号へ発信してください。

Q5. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー 678:
ダイヤル先のコンピュータが応答しません。
しばらくしてからやり直してください。

エラー 678:
リモートコンピュータが応答しませんでした。……

1. 回線が混んでいませんか？

回線が混雑してつながらない可能性があります。しばらくしてから、もう一度接続してみるか、他のアクセスポイントに接続して接続できるかをご確認ください。

2. アクセスポイントに間違いがありませんか？

接続先の電話番号に間違いがないかご確認ください。他のアクセスポイントの番号へ変更してどうかお試しください。

Q6. 次のエラーが表示され、インターネットに接続できない

エラー 691:
ユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした。

エラー 691:
ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップ接続を確立できませんでした。パスワードを確認してからやり直してください。

1. パスワードが間違っていますか？

ID、パスワードの入力が間違っている可能性があります。もう一度正しく入力し直してください。また入力方法は半角入力で大文字、小文字などを間違えないようご注意ください。

Q7. 「サーバーの種類で指定された互換性のあるネットワークプロトコルを処理できませんでした。コントロールパネルでネットワーク設定を調べてから接続し直してみてください。」というメッセージが出て接続できない

<Windows Server 2003/XPの場合>

[スタート]→[接続]→[OMRON(ご自身で設定した接続名)]→[プロパティ]をクリックしてください。「ネットワーク」タブをクリックし、「この接続は次の項目を使用します」は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」にチェックを入れてください。

<Windows2000の場合>

[スタート]→[コントロールパネル]→の順にクリックし、[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックしてください。接続するプロバイダのアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックしてください。[ネットワーク]タブをクリックし、「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」で、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」にチェックを入れてください。

<Windows98/Meの場合>

「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」(WindowsMeは「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ダイヤルアップネットワーク」)をダブルクリックしてください。「ご利用の接続アイコン」を右クリックして「プロパティ」→「サーバーの種類」(WindowsMeは「ネットワーク」)のタブをクリックしてください。サーバーの種類の設定内容をもう一度確認ください。設定はプロバイダのマニュアルや契約書等に従って行ってください。

Q8. ブラウザを開いたときに「～が見つかりません」「http://～/が見つかりません」などのメッセージが表示される

1. ドメインネームサーバー (DNS) の IP アドレスやドメイン名の設定が間違っていないかプロバイダから通達された資料を確認してください。

【確認方法】

<Windows Server 2003/XPの場合>

[スタート]→[接続]→[OMRON(ご自身で設定した接続名)]→[プロパティ]をクリックしてください。[ネットワーク]タブをクリックし、「この接続は次の項目を使用します」の枠の中の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]を開きます。

次の「DNSサーバーのアドレスを使うにチェック」が入っているか、「優先DNSサーバー」と「代替DNSサーバー」に、プロバイダ指定のDNSアドレスが入っているかどうかご確認ください。

<Windows2000の場合>

[スタート]→[コントロールパネル]→の順にクリックし、[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックしてください。「接続するプロバイダのアイコン」を右クリックし、[プロパティ]をクリックしてください。「ネットワーク」タブをクリックし「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」の枠の中の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]を開きます。

次の「DNSサーバーのアドレスを使う」にチェックが入っているか、「優先DNSサーバー」と「代替DNSサーバー」に、プロバイダ指定のDNSアドレスが入っているかどうかご確認ください。

<Windows98/Meの場合>

[マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク](WindowsMeは「マイコンピュータ」→[コントロールパネル]→[ダイヤルアップネットワーク])をダブルクリックしてください。「ご利用の接続アイコン」を右クリックして「プロパティ」→「サーバーの種類」(WindowsMeは「ネットワーク」のタブ)をクリックしてください。「TCP/IP設定」をクリックしてTCP/IP設定に間違いがないか確認してください。設定はプロバイダのマニュアルや契約書等に従って行ってください。

[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]の順にダブルクリックしてください。「ネットワークの設定」画面内にTCP/IPが複数インストールされていませんか。複数インストールされていた場合は、1つだけ残して削除してください。

2. ダイアルアップネットワークで作成したアイコンを削除し、「新しい接続」アイコンから作り直してください。

Q9. モデムを初期化したい

1. モデムの動作を確認するP103を参照し、ハイパーターミナルで初期化コマンド「AT&F」を実行します。

Q10. 接続後、パソコンの画面表示が遅くなるまたは回線が切断される

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[システム]→[詳細設定]タブをクリックしてください。パフォーマンス欄の「設定」をクリックし、「パフォーマンスを優先する」にチェックを入れ、「OK」をクリックしてください。その後パソコンを再起動してください。

Windows Me/98SEの方は、[マイコンピュータ]を右クリックし、→[プロパティ]をクリックします。[パフォーマンス]タブ→[グラフィックス]ボタンをクリックし、[ハードウェアアクセラレータ]を『最大』から『なし』にして[OK]をクリックします。その後パソコンを再起動してください。

Q11. 接続スピードが遅い、ホームページの表示が遅い

1. 最大56Kbpの高速通信を実現させるV.90方式では、回線側の影響を受けやすくなっています。回線の品質以上の速度で接続した際に、頻繁にリトレインやフォールバック/フォールワードを起こしているのかもしれませんが。またその際にエラー訂正も実施されるために、非常にデータの転送速度が遅くなっている可能性があります。

<Windows Server 2003/XP/2000の場合>

[マイコンピュータ]→[電話とモデムのオプション]→[モデム]タグ→[OMRON ME5614PCI3]をクリック→[プロパティ]→[詳細]タグ→[追加の初期化コマンド]に下記を入れます。

<Windows Me/98SEの場合>

[マイコンピュータ]→[ダイアルアップネットワーク]→[接続先アイコン]右クリック→[プロパティ]→[設定]タグ→[詳細]→[追加設定]に下記を入れます。

- ① 接続速度を下げます。
ATコマンド、“+MS=V90,1,300,33600,300,*****”を追加してみてください。
*****は48000, 46667, 45333, 42667を入れ替えてみます。
- ② V.90ではなくV.34で接続します。
ATコマンド、“+MS=V34”
- ③ MNP接続の設定をします。
ATコマンド“¥N5%C1”を追加してみてください。

2. ノイズ対策

- ・モジュラケーブルをできるだけ短いものにしてください。
- ・テレビ、ラジオ、電化製品、電源コンセントからできるだけ離してみてください。ノイズを発生しやすいものを近づけないでください。

3. PHONE端子に電話機/FAX機を接続している場合は、外してみてください。

Q12. 音を消したい

- ① Windows Server 2003/XP/2000の方は、[スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]→[電話とモデムのオプション]の順にクリックしてください。
Windows Me/98SEの方は、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[モデム]の順にダブルクリックしてください。
- ② Windows Server 2003/XP/2000の方は、[モデム]タブ→[OMRON ME5614PCI3]→[プロパティ]→[詳細設定]タブ([詳細]タブ)の順にクリックしてください。
Windows Me/98SEの方は、[OMRON ME5614PCI3]→[プロパティ]→[接続]→[詳細]の順にクリックしてください。
- ③ [追加の初期化コマンド]欄または[追加設定]欄に"ATL0M0&W"(0は数字のゼロです。)と入力し、[OK]をクリックしてください。

Q13. CD-ROMドライブがわからない

「マイコンピュータ」をダブルクリックします。(Windows Server 2003/XPの場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」の順にクリックします。)CD-ROM(D)が、CD-ROMドライブになります。(下記、例ではDドライブがCD-ROMドライブになります。)

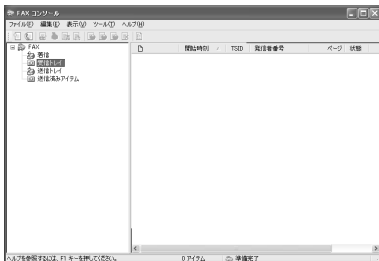


■ Microsoft-Fax を使用する場合 (Windows Server 2003/XP/2000)

Microsoft-Faxで、本モデムを使用する場合のセットアップ方法を説明します。実際にご使用になる場合は、「コントロールパネル」→「プリンタ」にて、「Microsoft Fax」アイコンを右クリック→「通常使うプリンタに設定」を選択しておいてください。

ここでは、WindowsXPの画面を例に説明します。

- 1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「FAX」→「FAXコンソール」をクリックしてください。



- 2 メニューバーの「ツール」→「FAXの構成」をクリックしてください。「FAX構成ウィザード」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

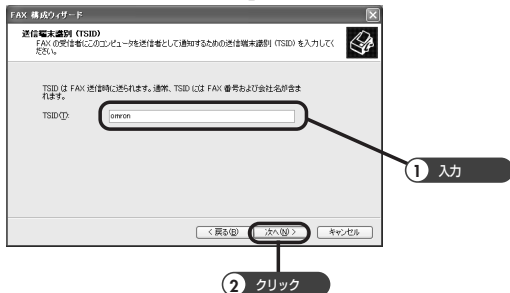
- 3 「送信者情報」画面が表示されます。必要な情報を入力し、「次へ」をクリックしてください。



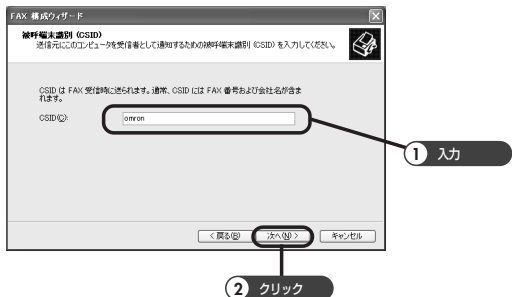
- 2 クリック

4 「FAXデバイスを選択してください」の欄で「OMRON ME5614PCI3」を選択し、「送信可能にする」受信可能にする」欄は必要に応じて設定してください。入力したら「次へ」をクリックしてください。

5 「送信端末識別 (TSID)」画面が表示されます。「TSID」欄に、FAX番号や名前を入力します。入力したら「次へ」をクリックしてください。



6 「被呼端末識別 (CSID)」画面が表示されます。「CSID」欄に、自局のFAX番号や名前を入力します。入力したら、「次へ」をクリックしてください。



7 「ルーティングオプション」画面が表示されますので、必要に応じて設定し、「次へ」をクリックしてください。

8 「FAX構成ウィザードの完了」画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。

以上で、設定は完了です。

詳しい使用方法については、各パソコンメーカーへご確認ください。

また、他のFAXソフトをご使用になる場合は、FAXソフトの取扱説明書をご参照のうえ、設定を行ってください。

■アンインストール方法

● Windows Server 2003/XP の場合

- 1 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「コントロールパネル」を開いてください。
「電話とモデムのオプション」のアイコンをダブルクリックしてください。



1 ダブルクリック

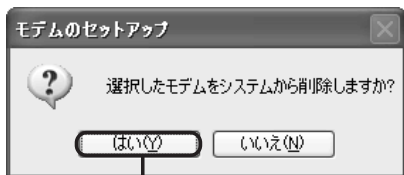
- 2 「モデム」タブをクリックし、「OMRON ME5614PCI3」をクリックし、「削除」ボタンをクリックしてください。



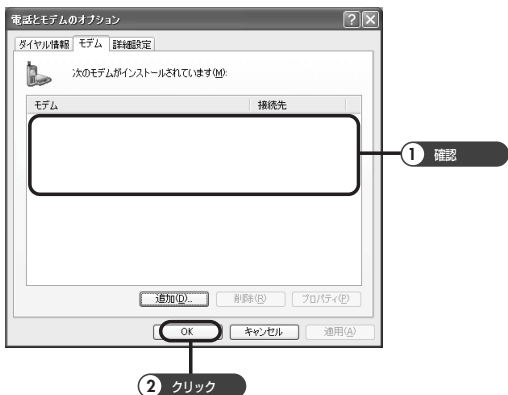
1 クリック

2 クリック

3 「はい」をクリックしてください。



4 「OMRON ME5614PCI3」が削除されたことを確認し「OK」をクリックしてください。



以上でドライバファイルのアンインストールが完了しました。

● Windows2000 の場合

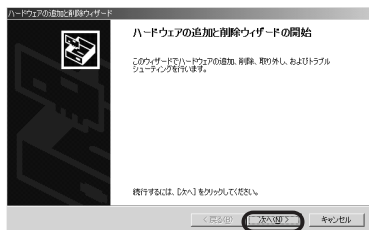
1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックしてください。

2 「ハードウェアの追加と削除」をダブルクリックしてください。



1 ダブルクリック

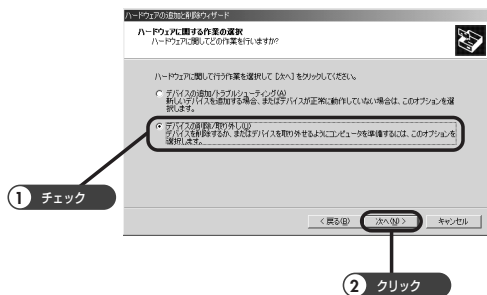
3 「ハードウェアの追加と削除ウィザードの開始」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



1 クリック

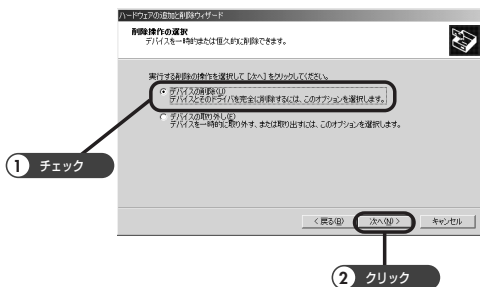
4

ハードウェアに関する作業の「選択」画面が表示されます。「デバイスの削除／取り外し」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

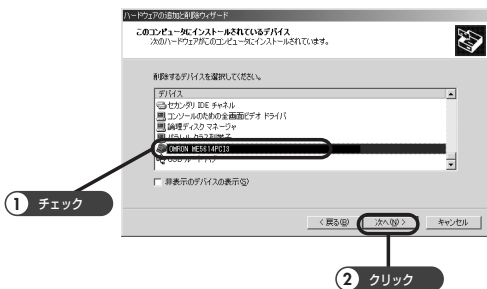


5

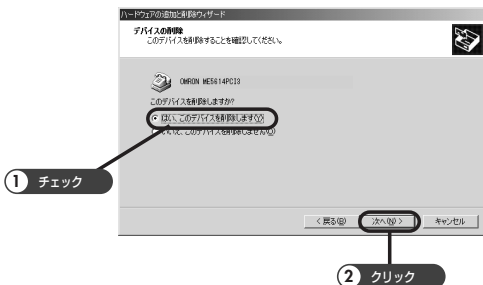
「削除操作の選択」画面が表示されます。「デバイスの削除」をチェックして「次へ」をクリックしてください。



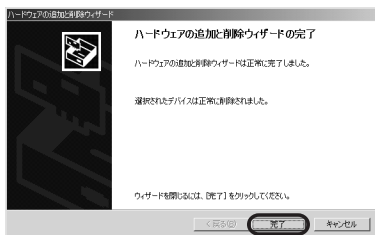
- 6 「このコンピュータにインストールされているデバイス」画面が表示されます。削除するデバイス「OMRON ME5614PCI3」をクリックし、「次へ」をクリックしてください。



- 7 「デバイスの削除」画面が表示されます。「OMRON ME5614PCI3」が表示されていることを確認し、「はい、このデバイスを削除します」にチェックを入れ「次へ」をクリックしてください。



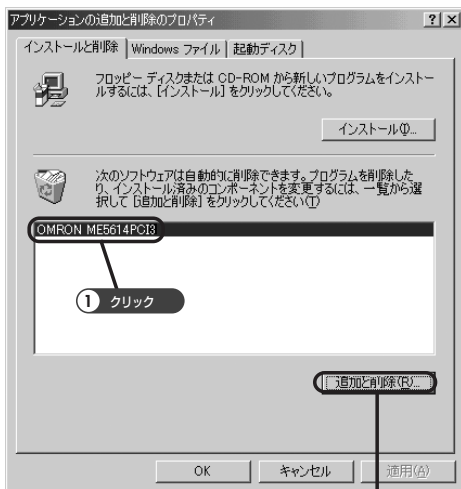
- 8 しばらくすると「ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了」画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。



1 クリック

● WindowsMe の場合

- 1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックしてください。
- 2 「インストールと削除」タブ内で「OMRON ME5614PCI3」をマウスで選択し、「追加と削除」をクリックしてください。



- 3 「ファイル削除の確認」画面が表示されるので「はい」をクリックしてください。その後「OK」をクリックしてデスクトップに戻ってください。

● Windows98SE の場合

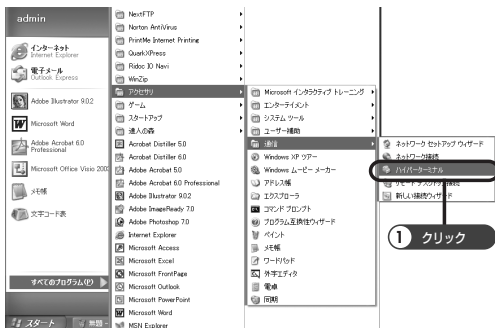
- 1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックしてください。
- 2 「インストールと削除」タブ内で「OMRON ME5614PCI3」をマウスで選択し、「追加と削除」をクリックしてください。
- 3 「ファイル削除の確認」画面が表示されるので「はい」をクリックしてください。その後「OK」をクリックしてデスクトップに戻ってください。

■モデムの動作を確認する

本モデムとパソコンとの接続を、実際に使用するプロバイダの電話番号に接続して確認します。確認には、Windows OSに標準で装備されている「ハイパーターミナル」を使用します。以下、WindowsXPの画面で説明します。他のOSをお使いの場合、適宜読み替えてください。

購入後初めて使用するときや、長時間、電源をOFFした後、または、設定を間違えたために正常に動作しなくなった場合は、モデムを初期化してください。

- WindowsXPのデスクトップの「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」をクリックしてください。
「ハイパーターミナル」をクリックしてください。



- 「接続の設定」ウインドウの「名前(N)」欄に適当な名前(ここでは例として「ABC」と入力します)を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 3** 「電話番号(P)」欄に適当な数字(この例では「111」と入力します)を入力し、「接続方法(N)」欄はME5614PCI3を選択してください。
 入力が済んだら「OK」をクリックしてください。



- 4** 以下の画面の「キャンセル」をクリックしてください。
 これでATコマンドの入力可能なターミナルモードに入ります。




5 ターミナルモードで、次のようにATコマンドを入力してプロバイダに接続します。


① **AT** 

OKが表示されます。

ATが表示されない場合でも、

AT と入力し、**OK**が表示されるか確認してください。

ATもしくは**OK**が表示されない場合は

AT&F を入力してください。

ATおよび**OK**が表示されます。




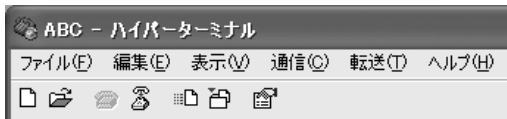
② **ATDTxxx** 

※xxxは接続先のアクセスポイントの電話番号を入力してください。

(**ATDTxxx** は電話回線がトーンの場合。パルスのときは **ATDPxxx** と入力します。)

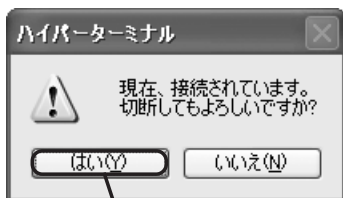
接続が完了すると画面にCONNECTが表示されます。

6 メイン画面のツールバーの  ボタンをクリックしてください。

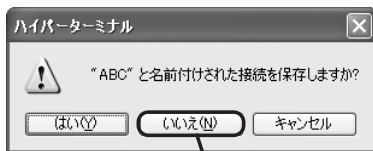


7 メニューバーの「ファイル」→「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてください。

- 8 以下の画面が表示されます。
「現在接続されています。切断してもよろしいですか?」と聞いてきますので「はい」をクリックしてください。



- 9 以下の画面が表示されます。
「"ABC"という名前付けされた接続を保存しますか?」と聞いてきますので「いいえ」をクリックしてください。
「ハイパーターミナル」が終了します。
これで、モデムの初期化と動作テストが完了しました。



留意事項

- 「NO CARRIER」が表示されたら、通信速度を確認してください。
- 「BUSY」が表示されたら、別の電話番号にかけてみてください。

付 録

■仕様

●NCU仕様

項 目	機 器 仕 様
通信回線数	1回線
適用回線	アナログ公衆回線
NCU形式	AA*
ダイヤル形式	ダイヤルパルス式(10/20pps) プッシュ式(トーン式)
NCU制御 コマンド	ATコマンド準拠(データ通信用) FAXクラス1コマンド(EIA-578)
回線モニタ	本体のスピーカによる

* モデムを使用中に電話機用モジュラジャックに接続した電話機を使用するとデータ通信に影響を及ぼす可能性があります。

●データ仕様

項 目	機 器 仕 様
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式(非同期式)
通信速度	56000/54667/53333/50667/49333/46667/45333/ 42667/41333/38667/37333/34667/33333/30667/ 29333/28000bps (V.90) 28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/ 12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps
通信規格	ITU-T V.90/V.34/V.32bis/V.32/V.22bis/V.22/V.21 BELL 212A/103
端末ーモデム間 速度	115200/57600/38400/19200/12000/9600/7200/4800/ 2400/1200/300bps
動作モード	ORG/ANSモード
送信レベル	-15 dBm
受信レベル	-10 dBm ~ -43 dBm
エラー訂正機能	MNPクラス4/10準拠、ITU-T V.42準拠
データ圧縮機能	MNPクラス5準拠、ITU-T V.42bis準拠

● FAX 仕様

項 目	機 器 仕 様
伝送制御手順	GIII
通信方式	半二重
同期方式	調歩同期式(非同期式)
通信速度	14400/12000/ 9600/7200/4800/2400/1200/300bps
通信規格	ITU-T V.21ch2/ V.27ter/ V.29/ V.17

●一般仕様

項 目	機 器 仕 様
DTEインタフェース	PCIバスインタフェース
電源	+3.3V±5% PCIバスから供給
消費電力	最大約0.45VA
寸法/質量	ME5614PCI3 本体： 幅：134mm、奥行：121mm、高さ：21.5mm 質量：60g以下 ME5614PCI3 ロープロファイル取付金具： 幅：134mm、奥行：80mm、高さ：23.5mm
環境条件	温度：0～40℃、湿度：25～85% (結露なきこと)

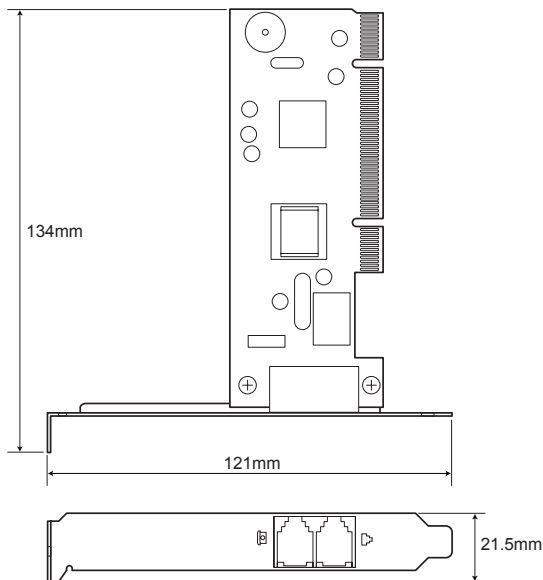
●技術基準適合認定に関する表示



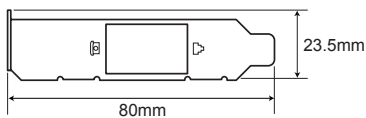
認証番号A02-0500JP

■外観寸法図

●ME5614PCI3



●ロープロファイル取付金具



■修理のご案内

修理を希望される場合の依頼方法は2つあります。

1. お買い上げ店に持ち込んでいただく方法
2. 商品を当社周辺機器修理センタへ直送していただく方法
(出張修理サービスは行っておりません。ご了承ください。)

<周辺機器修理センタへ直送していただく方法>

1. 修理依頼手順

- ① 「修理依頼票」をコピーしてください。
- ② 「修理依頼票」に必要事項をすべて記入してください。
故障内容や発生頻度などを詳しく記入してください。
- ③ 製造番号/発送日/発送時の送り状No.を控えとして以下に記入してください。

修理品の問い合わせ時に必要です。

- ④ 「修理依頼票」を修理品に同梱し、下記宛先に発送してください。
(送料はお客様負担にてお願いします。)

製造番号	
発送日	年 月 日
発送業者	
送り状 No.	

2. 修理期間

〒491-0914
愛知県一宮市花池4-13-11
株式会社エイスタッフ内
オムロン周辺機器修理センタ宛
TEL: 03-3436-7213

おおむね1~2週間

*故障状況によっては、1ヶ月以上要する場合がありますのでご了承ください。

3. 修理代金お支払い方法(有償修理の場合)

有償での修理代金は、代金引換または銀行振込にてお支払いください。

- 代金引換 ヤマト運輸株式会社のコレクトサービスを利用します。
- 先行銀行振込 ... 振り込み確認後、修理品を発送させていただきます。

■修理依頼票 ME5614PCI3

- 修理依頼時、この依頼票に必要事項をすべて記入の上、製品に同梱してお送りください。

依頼日	平成 年 月 日 ()		
フリガナ			印
お名前			
ご住所	〒		
会社名 部署名			
電話番号		携帯電話番号	
FAX番号			
E-Mail			
製造番号			
保証書	<input type="checkbox"/> 有り 保証書を同梱ください。 <input type="checkbox"/> 無し 保証期間内でも有償となります。		
故障状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 常時発生 <input type="checkbox"/> 時々発生(具体的に...例：週1回) ()	
	現象と ご要望 <small>※故障内容を詳しく記入してください。</small>		
お支払い方法 (有償の場合)	<input type="checkbox"/> 代金引換 <input type="checkbox"/> 銀行振込(完了品の発送はお振込み確認後となります。)		

お問い合わせ票

Fax No.: 03-3436-7059

お問い合わせ票

お客様がカスタマサポートセンタにお問い合わせ
いただくときに本票をご利用ください。

お名前	:
電話番号	:
FAX番号(FAXでご連絡できる場合にご記入ください)	:
メールアドレス	:

●ご使用モデムについて

機種名	: ME5614PCI3
SER. No.(製造番号) 例: 6LT100001	:

●ご使用パソコンについて

メーカーおよび機種	:
使用OSおよびバージョン <例: WindowsXP>	:
通信ソフトおよびバージョン <例: ダイアルアップ、Nifty Manager Ver. 5.0>	:
初期化コマンド<例: AT&F>	:
モデムPC間速度<例: 115200bps>	:
接続ポート<例: COM3>	:

●ご契約インターネットプロバイダについて

プロバイダ名<例: Nifty, Biglobe>	:
接続先電話番号<例: 03-5777-4851>	:
通信規格<例: V90, V.34>	:
接続される速度<例: 45333bps>	:

●ご使用電話回線

種別<例: プッシュ回線又はパルス回線>	:
回線経路 <例: NTT回線に直結、1階と2階で分岐、交換機経由>	:
特殊回線 <例: TAアナログポート経由、NTT専用線>	○使用しない ○使用する <どちらかを選択してください>

具体的な不具合の内容やご質問内容を記入する為のメモとしてお使いください。

